

ビジネスモデル論と人的資源管理②-1 アンケート060705

人材発見会社が発見する人材は労働力からリーダーシップへと移り変わっていくと言っていたが、まったくその通りだと思った。

「否定して肯定しなおす」という発言はとっても数学的な考え方だと思う。

物事を理論立ててみるのができ、それを図に表すことで整理し本質を見抜けることが重要だ。

初めて「経営者」と「事業家」の根本の違いを知り、これからの大学生活で「事業家」を目指し、努力を重ねようと思います。

先生の図に書いてあるように人生テーマとライフデザインの枠から様々なアイデア、価値観、仕事が出てきて自分の将来の成功に導いていくのではないかと思います。

自分の頭の中でその本質やビジネスモデルを考えようとした。話が興味を引いた。

今回の講義はとっても面白かった。

成功している人物は結「図解」を描いていることを知り、なるほどと思った。成功者という人々は他の一般的なものから抜け出しているのであろう。それが実は人々のニーズなのであろう。

説明されていた人立ちがみんなあまり勉強が好きではないということが以外でとても新鮮だった。新しいビジネスモデルを生み出し成功した人は自分で考え出す力を持っており、強い自分の信念というものがあったのだと思う。また、どの人も図を用いたりまとめやすい方法を持っているなと感じた。

人材はもっとも重要な経営資源と言える。人材育成は当今社会の大課題です。ビジネスモデルと人的資源の関係について講義を通じて理解してきました。ビジネスモデルは人が着想→構想→計画→実施の流れで構築したものです。優れたビジネスモデルの構築は事業家のキャリアデザインと緊密な関係があるとわかりました。図解はビジネスモデルの構築に大いに役立つと考えます。

身近な企業の考えや構想などは非常に興味深く関心がありました。“恐怖の5分間”に興味を持ちました。

3人のビジネスモデルや人生鳥瞰図などの話を聞いて共感するところがたくさんあった。

人材不足のところでは人数はたくさんいっても使える人間が足りないというのは逆に言えば、使える人間にとっては活躍するチャンスが広がると思った。

共通点から見るとやはり考えるということはずごく大事だと感じる。

これまで以上に企業に対する見方や企業家の考え方を学ぶことが出来た。

人生鳥瞰図がその人の人生とライフデザインを上手に表現されていてとても良かった。要望としてはもう少しキャリア開発に関して今後のためにより詳しく紹介してほしいと感じた。

自分を成長させることは経験からくると分かった。

この特性を生かし、人々を導くことが出来る人材こそが重要なのだと強く感じる事ができた。

勉強と自分で考えることのバランスをうまくとらなければならぬと感じた。

自分に足りないものは時間をかけて考えることであると気づかされた講義だった。

特にセコムの飯田さんのビジネスモデル・キャリアデザインには驚いた。

同じ図解のフォーマットで分析するという試みは非常に面白く感じた。図解することによって視覚的にとらえなおし、自分の中でも整理しなおすことが出来るということがわかった。

「5年ごとを節目にして伸びつづける竹のように生きる」という言葉に感動しました。私は特に人生の目標が無いので参考にしたいと思いました。今を代表する人々を取り上げその生き方などを生徒に紹介するという形で学べることは多いと思います。

事業を構想することはデザインだとか、事業の創始者はアーティストだとか言った考えが非常に面白いなと思いました。

ビジネスモデル論と人的資源管理②-2 アンケート060705

図に示すことができることである。南部さんに刺激を受けました。

柳井さんが「会社では本質的に脆い存在だ。」と言っていたのが考えさせられた。興味深く聞いて楽しい講義でした。

今日紹介された3人は皆、価値観が自己実現、夢、志など似かよっており、自分の夢や意思に対して前向きであることが大切だと感じた。

ユニクロの柳井さんの自分流を貫いたビジネスモデルはすごいと思う。

勉強は選択的、計画的にすることが大切だ。自分の足元に用心して、先発することが勝つ！

「勉強は自由な発想を拘束」するということに納得した。

先生のレジュメは図や表現が見やすく大変分かりやすいです。大変参考になりました。

図解のレジュメはとっても分かりやすかったです。

どの事業家もニーズをつかんで商品化し成功していて、とってもいい見本だと思います。

聞いていて興味が持ちました

専門書は難しい文を長々と書いているものが多いので図解シリーズを増やして欲しいと思う。

飯田さんが言っていた「勉強するな」という発想に驚いた。

南部靖之さんの話が一番聞いて楽しかった。

右脳の思考が重要なのだと思った。

考えの体系、複数の事象の位置関係について整理するとともに、図解という作業は欠かせない。自分だけの考え「構想」する際にも図解という方法は非常に効果的であると思う。「勉強すると自由に動けない」という言葉には驚きました。

構想は“才”というよりも“経験”“発想”というところから生まれているようで大変身近に感じました。

3人とも事業構想する形が色々だということに気づいた。今回の授業を通じて事業構想の仕方は事業の数だけであるということに気づかされた。

人生テーマやライフデザイン(キャリアデザイン)を図で表していたのが分かりやすく、事業家の方々の人生を理解するのに役に立った。実際、「キャリア開発」という講義を受けているが、文書で説明されるより、図解を見て自分の生い立ちやできことなのを当てはめていくという、自分の価値観を発見することが容易だと感じられた。キャリア開発でもこの図解を活用してみてもいいだろうか。

「仕事がつまらない人生は地獄、楽しかったら天国」ということが印象に残りました。人の人生を図式化するという大胆な発想は第三者に他者を紹介する有効な手段であると感じました。

事例を取り上げ学ぶというのはどんな教科書よりも理解しやすいと思います。先生は今の日本はリーダー的人材不足だといいましたが、確かそうだと感じました。視野を広く持つて人間になる努力をしなければならないと思う。

混乱した頭を整理する時にキーワードを図にして問題の構造を明確にする・事業家ではなく私も図は必要かもしれない。

人とのつながりを大切にしていることを感じました。

先生は「勉強するな」とおっしゃってて・・・だったら人の出会いを大切にしようと思う。今は経験値をアップさせることが大切だなと気づかされました。

先生の図解のプリントがとっても分かりやすく好きです。事業に対する明確なビジョンが少しではありますが、出ました。

事業構想するときに図でモデルを考えた人がいるのが驚いた。図はどんな場面でも役立つ万能なツールだ。

セコムの飯田氏のビジネスモデルにもっとも関心を覚えた。

ビジネスモデル論と人的資源管理②-3 アンケート060705

同じ成功者でもこれほどまでに、考え方が違うと言うことに非常に興味を持ちました。

「勉強は自由な発想を拘束する」ということばがとっても気に入った。

私は先日までユニクロでバイトしていたので今日の講義ではなるほどと思えることが多々あった。ユニクロという会社は即戦力が求められ社員教育がおろかにされる現代の社会において私が経験したかかぎりでは社員教育がしっかりなされている数少ない会社だと思う。

ビジネスモデルの図解をいくつか紹介してもらったわけだが、ただ本を読むよりはすっきりと理解することができた。自分のやりたいことについてまだ迷ったり、把握できていないところもあるので、一度図解してみようかと思った。そこで一つ思ったのが「キャリア開発」を久恒先生に講義してもらいたい。先生にライフデザイン、キャリアデザインについて学ぶ方がいまのものよりも大分マシだと思う。

今までに無かった新しいモデルを作った時に図解がとっても有効だというのは「なるほど」と思いました。

世の中で成功している人は、図解がうまい人が多い。

ビジネスモデルも十人十色だと思った。

3人の中で一番会って見たいと思ったのがセコム飯田さんでした。「勉強は自由な発想を拘束する」ということばに救われた気がする。

勉強すると影響を受けるから読書をしないという考えは飛びぬけていると思った。大切なのは自分で考えること。

熟成させて絞る、の繰り返しで出来た図を冷静に眺める。

図解をしており頭に入りやすくて興味が持った。

飯田氏などについてのビジネスモデルとキャリアデザインの図解を見て自分もこんな図解ができるようになりたいと思った。

図解がうまい人が成功するケースが多い。物事をあらゆる角度からみることが出来る能力が優れているからだと思う。

身近な企業の方が分かりやすい授業でした。